<プログラム解説>

1.制作期間·担当箇所

プログラムの制作期間は 2024 年 6 月下旬~2024 年 7 月上旬までの約3週間です。

以下のプログラム全体の設計と基礎を担当しました。Stage1 と Stage3 は友人が担当しました。

ソースファイル/Main.cpp

ソースファイル/MyLib

ソースファイル/Scene

ソースファイル/Game/Stage2

2.プログラムのアピールポイント

・ポリモーフィズムを利用したメモリ管理

Goforbroke で反省点としてあげたメモリ管理を改善しました。

前回は SceneManager.h にて全てのシーンをインスタンス化しました。ゲーム開始時に必要のないシーンも初期化されメモリを使ってしまう問題を cpp 内でメモリ確保と破棄を行うことで解決しました。

最初に SceneBase.h(右図)を作りこれを継承してそれぞれゲームシーンクラスを作成しました。書き忘れ防止のため純粋仮想関数で定義し、それぞれのシーンクラスは Loop と Draw 関数を呼び出せば動く仕組みにしました。

場所 ソースファイル/Scene/SceneBase.h

シーンを管理する SceneManager.h にてポインタで 宣言します。 swich 文でシーンを分け、それぞれ 切り替わるときに*cScene に delete または new し て必要なクラスだけ一時的にメモリを確保するよう に改善しました。(右図)

Scene/SceneManager.cpp

·Stage 内のみ変更すれば動く仕組みづくり

チーム制作を意識して他の人がシーン切り替えやシステムを変更しなくて済むように組みました。ベース(Game/GameBase)を作りステージ全てで継承しています。m_base にクラスを確保し、全ステージに作成されている lnit ~ Exit までを m_base から呼び出します。

こうすることで、ほかのメンバーは担当箇所のステージ 以外を触らなくて済み、触ってエラーが起きることを防 ぎました。

Scene/Play/Play.cpp

長くなりましたが、最後まで読んでいただきありがとうございました。